

自動車整備科・一級自動車工学科・ 国際自動車整備科			2025年		授業計画	
時 期	1年D巡	単元	学科	教科名	シャシ整備1D	
科 目	自動車整備関連	教科書等 持参品	二級自動車整備士（総合）		発行日	2025.4.1
総時限	13時限				教科担当	
必要時限	13時限					
指導教員の実務経験 該当 非該当						
自動車整備士として、シャシ整備の実務経験がある教員によりシャシの構造、作動について指導する。						
教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入） ①シャシの総論について理解する。 ②動力伝達装置について理解する。						
授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか） ①自動車の性能や走行抵抗、走行性能曲線図について理解出来る。 ②クラッチの構造、性能について理解出来る。 ③オートマチックトランスミッションの構造、作動、性能について理解出来る。 ④プラネタリ・ギヤ・ユニットの変速比計算を理解出来る。 ⑤CVTの構造、作動、性能について理解出来る。						
学習評価（期末試験での主な試験項目） 1）履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。 整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。 2）出題試験項目 ①シャシの総論分野 ②動力伝達装置 ③トルクコンバータ性能曲線図読み取り及び計算問題 ④プラネタリ・ギヤ・ユニット減速比計算問題 ⑤自動変速線図問題						
準備学習 シャシ構造Aの動力伝達装置の復習をしておく。						

自動車整備科・一級自動車工学科・ 国際自動車整備科					2025年	授業計画
時 期	1年D巡	単元	学 科	教科名	シャン整備1D	
授業概要（時限ごとの主な授業内容）					教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	総論	自動車の発達、性能、走行抵抗			二級自動車整備士（総合）	各自
2	総論	駆動力、駆動力曲線、走行抵抗曲線				
3	動力伝達装置	クラッチの構造・機能、自動遠心クラッチ（二輪）、AT概要				
4	動力伝達装置	トルクコンバータの構造・機能、トルクコンバータ曲線図				
5	プラネタリ・ギヤ	プラネタリ・ギヤ・ユニット計算問題				
6	動力伝達装置	変速機構				
7	動力伝達装置	電制制御装置（AT）				
8	動力伝達装置	変速点、自動変速線図問題				
9	動力伝達装置	レンジの作動1.2.3.4.R.N.Pレンジ				
10	動力伝達装置	ロックアップ機構、安全装置				
11	動力伝達装置	AT故障診断、CVT構造・機能				
12	演習	演習問題				
13	期末試験	期末試験				